

# 冬の二刀流 レデツカ V

アルペンスキーの女子スーパー大回転が17日に行われ、スノーボードでも代表になっているエステル・レデツカ(チェコ)が1分21秒11で金メダルを獲得した。2連覇を狙ったアナ・ファイト(オーストリア)を0秒01抑えた。

## 果敢に攻め0秒01差

スーパー大回転

スノーボード。2014年、PGS歴代最年少の18歳でワールドカップ(W杯)初勝利を挙げ、15年世界選手権パレル回転(PSL)で金メダル。今季のW杯ではPGS出場6戦で5勝を誇る。一方、4種目に出場した昨年のアルペンスキー世界選手権では、複合の20位が最高。今大会は大回転で23位だった。

## \*スノボで「ダブル制覇」挑戦

とてつもない二刀流アスリートがスノーボード界に出現した。

スノーボードのパレル大回転(PGS)で無敵を誇る22歳のレデツカが、アルペンスキーのスーパー大回転で金メダルを獲得。「まさかここに来ると思わなかったから、お化粧もしていないの」。ゴグルをしたまま臨んだ記者会見が、歴史的勝利の衝撃を物語っていた。

26番と遅いスタート。序盤は遅れ気味だったが、中盤から果敢に攻めた。終盤、左ターンの難所を完璧にこなし、ソチ大会女王のファイト(旧姓フェニガー)をわずか100分の1秒かわしてゴール。「表示が間違っていると思った」と、最初はきょとんとしていたが、観客の大歓声を浴び、人なつこい笑顔を振りまいた。「他の選手は重圧が

あったと思うけど、私は攻めるだけだった」という無欲の勝利だった。

2歳でスキー、5歳でスノーボードを始めた。14歳でどちらかを選択するようコーチに求められたが、二刀流を選んだ。「たくさんの方に、両方やるのは無理だと言われたけど、私は両方やりたかった」

二刀流の効果について、「スキーで高速のレースをすることがスノーボードに生き、スノーボードでの実績が、スキーでの自信につながっている」と話す。PGSでは、異なる競技での金メダルという偉業に挑む。「やれると思っているし、そう願っている」。さらなる快挙を達成できるか。

(三室学)



●スーパー大回転で金メダルを獲得したレデツカの滑り ●笑顔をみせるレデツカ=いずれもAP



●キトラ

週末は受検勉強や部活の遠征お疲れさまでした。8日から始まった平昌五輪ですが、先週は日本人の金メダルが続きましたね。

日本人以外でも多くの感動を届けてくれるオリンピックですが、逆境からの大逆転劇はたまりません。ただスポーツ欄以外にもたくさん良い記事があるのでは。

## サラ・ヘフリン 逆転で金

フリースタイルスキー女子スロープスタイルは17日の決勝で、サラ・ヘフリン(スイス)が金メダルに輝いた。3回の演技のうち3回目、91・20点を出して逆転した。

6位入賞のツボタ「いいスキーできた」フリースタイルスキー女子スロープスタイルで前回ソチ大会と同じ6位に入っ

た24歳のユキ・ツボタ(カナダ)が、よどみない日本語で言った。「いいスキーができた。すっごくうれし」。母親が日本人で、バンクーバーで生まれた。ソチ大会では、決勝2回目の最後の空中技で着地に失敗、雪面に激しく体を打ちつけて担架で運ばれた。1回目の結果で成績は残ったが、あ